

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局 地域道路課  
担当課長名：横谷 利昭

<b>事業名</b> 一般県道 多武峯見瀬線（上工区） <small>とうのみねみせ かわら</small>	<b>事業区分</b> 地方道	<b>事業主体</b> 奈良県
<b>起終点</b> 自：奈良県桜井市多武峯 <small>さくらいしどうのみね</small> 至：奈良県高市郡明日香村上 <small>たかいちぐんあすかむらかわら</small>	<b>延長</b> 1.0km	
<b>事業概要</b> 一般県道多武峯見瀬線は、奈良県桜井市多武峯を起点として奈良県橿原市見瀬町に至る道路である。 当該区間は交通不能区間であるため、2車線のバイパス整備により交通不能区間を解消するとともに、地域間の連携強化と観光ルートの形成による観光支援を図る。		
<b>H4年度事業化</b> 都市計画決定なし		<b>H5年度用地着手</b> H5年度工事着手
<b>全体事業費</b> 27億円		<b>事業進捗率</b> 89%
<b>計画交通量</b> 2,000台/日		<b>供用済延長</b> 0km
<b>費用対効果分析結果</b> B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 13.4	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 6.1/69億円 (事業費) 5.0/68億円 (維持管理費) 1.1/1.1億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 83/83億円 (走行時間短縮便益) 72/72億円 (走行費用減少便益) 7.8/7.8億円 (交通事故減少便益) 2.6/2.6億円
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=12.5(交通量+10%)      B/C=14.2(交通量-10%) 事業費変動：B/C=12.4(事業費+10%)      B/C=14.6(事業費-10%)		
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築（現道の交通不能区間を解消） ・個性ある地域の形成（特別立法に基づく事業）		
		他5項目に該当
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」に基づく明日香村総合計画に位置づけられており、早期の完成が望まれている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> （主）桜井吉野線の新鹿路トンネルの開通（H15年）に伴う交通量の増加（H11→H17：2,000→7,500台/日） 近接して平成7年度から「ふるさと農道整備事業」によりL=4.2kmのバイパス整備が事業化（H19完了予定）		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地買収率100%、事業進捗率（事業費）89%であり、0.5kmが改良済みである。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 法面崩壊に伴う計画修正、用地の追加買収、公図混乱地区の地図訂正により事業進捗が遅れたが、用地取得は完了しており、平成20年度の完成に向けて工事の推進を図る。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 山切部の法面工法については、極力緑化を図る工法等により環境に配慮している。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらない。		
<b>事業概要図</b> 		

注）費用対効果については、隣接する地方特定道路整備事業（L=1.4km）と併せて算出している。  
 ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。